

宮島の植物

フィールド科学系部門 生物科学班
内田 慎治

1. はじめに

皆さんは宮島と聞いて何を思い浮かべますか。朱の大鳥居や厳島神社、桜、紅葉、シカ、もみじ饅頭などがよく聞かれる答えだと思います。宮島は、日本三景のひとつです。また、ユネスコの世界遺産にも登録されています。世界遺産に登録された場所は厳島神社とその後背林、国の天然記念物の弥山原始林であるが、宮島は周辺海域も含めて全島に豊かな自然を残している。著者が日々業務を行っている理学研究科附属宮島自然植物実験所は、その宮島にある施設です。

2. 宮島自然植物実験所の位置

宮島自然植物実験所は、広島県廿日市市宮島町の室浜という宮島栈橋から約 6 km、宮島水族館のそばにある大元公園から約 4 km の位置にあります。大元公園から途中にある多々良を経由して、室浜までの海岸沿いに観察路(道路)が続いています。観察路の両側の森林は、広島大学の敷地であり、教育・研究のため公開されています。

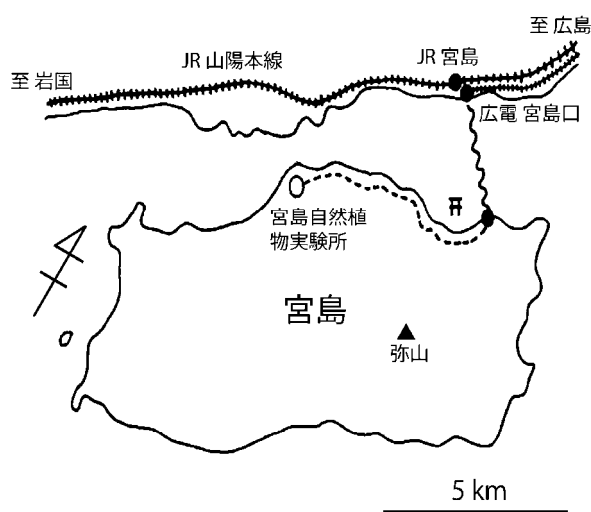


図 1. 宮島自然植物実験所の位置

3. 宮島自然植物実験所での業務

宮島自然植物実験所の業務は、実験所園内の植物、園路の維持管理をはじめに、標本、標本庫の維持管理や建物、施設の維持管理、研究・教育活動の補助、植物観察会の実施など、これら以外にも多くの業務があります。

4. 宮島の貴重な自然や生態系

宮島の自然や生態系は、広島という 100 万人規模の都市の近くでありながら豊かな自然が残っており、世界的にも多くありません。また、宮島の自然や生態系は、本土の自然や生態系と異なっており、それは本土の自然や生態系が開発され、宮島の自然だけが元の姿のまま取り残されています。さらに、瀬戸内海周辺で行われてきた海岸の埋め立て、低地での住居、畑などによる生態系の分断がないため海から山頂まで連続した生態系が残っています。これらの貴重な自然や生態系が残っている理由として、島であるため、周りの自然から隔離された環境である点や歴史的に見ても島全体が社寺林のように大切に扱われてきた点、近年では多くの法律(ユネスコ世界遺産、国の天然記念物「彌山原始林」、瀬戸内海国立公園など)で保護されている点などが挙げられます。



図 2. 航空写真(多々良)

5. 宮島の植物や生態系の特徴

宮島の植物や生態系の特徴として、大きく3つのことがあげられます。1つ目は、ハマゴウ群落やモミ・ミズバイ群落、モミ・ツガ群落、コジイ群落などの豊かな自然植生があり、700種以上の維管束植物と300種以上の蘚苔類が生育するなど植物相が豊富であり、これらの植物が人の影響を免れて、自然の状態で生活している点です。2つ目は、カンコノキやカギカズラ、モロコシソウ、シロシヤクジョウ、ヒナノシヤクジョウ、マツバラシ、オオカグマ、ヒメハシゴシダなどたくさんの希少種が存在する反面、アベマキやイヌマキ、コナラ、ナツハゼウツボグサ、ヒガンバナ、ノアザミ、チジミザサ、スギナなど人里や路傍植生の植物が少なく、本土と近い位置にありながら植物の種類が本土と著しく異なる点です。3つ目は、ウリハダカエデやモミ、ネズなどの寒地の植物とミズバイやホウロクイチゴ、カギカズラ、サカキカズラなどの暖地の植物が共存している点です。



図3. ウリハダカエデ



図4. カギカズラ

6. 宮島の植物と動物の関係

宮島の植物を考える場合、植物とシカ・サルなどの動物との関係を考えなくてはなりません。宮島の植物には、カンコノキやホウロクイチゴなどトゲを持った植物、シキミやアセビなどの有毒植物、オニシバやナガミノオニシバなど採食圧に抵抗性をもった植物などのシカに対して抵抗性を持った植物が多く見られます。弥山の山頂付近では香川県の小豆島から連れてこられたサルが半野生化しており、弥山などの岩場に生育していたミヤジマシモツケなど貴重な植物が絶滅の危機にあります。シカやサルなどの大型哺乳類は、植生に大きな影響を与えます。近年、宮島ではイノシシやタヌキが増えてきており、今後どのような影響を及ぼすか注意深く観察していきたいと思えます。

7. 業務中における発見

著者の業務のひとつである研究・教育活動の補助をしている際に2つの重要な発見をしたので報告します。1つ目は、広島県で2例目となるウエマツソウの発見です。ウエマツソウは、ホンゴウソウ科ウエマツソウ属の植物で、高さ5~10cmの多年生草本です。ウエマツソウは、環境省のレッドデータでは絶滅危惧Ⅱ類とされている希少な植物です。2つ目は、宮島において約50年ぶりとなるモーリッシュゲリゴケの再発見です。宮島では1960年代以降は生育が確認されておらず、近年の生育状況や個体群の動態については明らかにされていませんでした。モーリッシュ



図5. ウエマツソウ

シゲリゴケは、コケ植物で広島県のレッドデータブックにおいて絶滅危惧 I 類とされている希少な植物です。

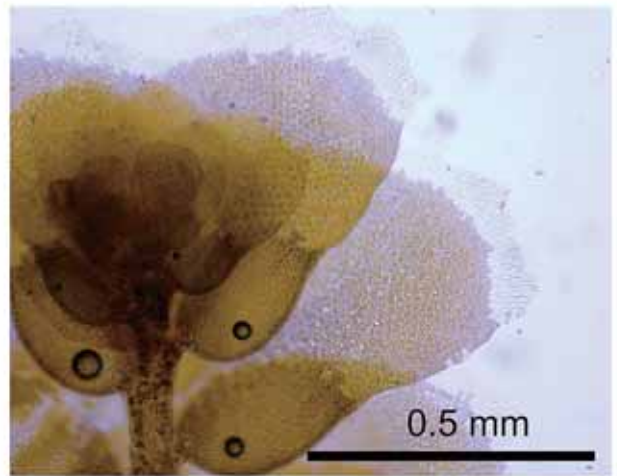


図 6. モーリッシュシゲリゴケ